



事務局 江別市大麻園町  
29-11  
発行責任者  
会長 多米 豊  
TEL, FAX 011-386-5347  
北大教育学部同窓会

## 教育学研究科長・学部長となつて



ふまえつつ、新たに困難をかかえた子どもたちへの総合的臨床的研究を進める「子ども・家族・教育研究センター」に改組・拡充させていく概算要求に取り組んでおります。

六ヵ年にわたる中期計画推進のために、今年度から研究科内に「中期計画推進委員会」を設けて、かかわる諸課題に対応していきます。私たちが進めていた活動の内容と成果を、研究・教育・社会貢献の全体にわたって、学内外に「見える形」にしていかねばなりません。もちろん、それは外部から求められるからというよりも、私たち自身が教育学研究科・学部の活動を総括し、さらに自覚的に発展させていくために必要なことです。

研究活動においては、教育学の幅広さを活かした多様な研究を推進すると同時に、研究科全体で取り組む総合研究も推進しています。その成果として「発達・学習支援ネットワーク研究」、「および多元文化教育論講座（同じく言語文化部）」という三つの協力講座があります。これらをいかに整備充実させていくかが強化されておりますので、小さな研究科（学部）から声は無視されがちになります。

法人化の下では経営管理が重視され、それも全体と強化されておりますので、小さな研究科（学部）から声は無視されがちになります。

わずか四ヶ月間だけの経験ですが、とても厳しいものがありました。その中で、どのようなことを考え、進めてきたかについて報告いたします。

教育学研究科には教育臨床講座、教育計画講座、健康・スポーツ科学講座といふ三つの大講座があり、これに乳幼児発達論講座（スタッフは付属乳幼児発達臨床センター所属）と生涯学習計画講座（同じく高等教育機能開発研究総合センター）、および多元文化教育論講座（同じく言語文化部）という三つの協力講座があります。これらをいかに整備充実させていくかが、当面の課題となっています。

創刊号から第三号まで、以下、続刊）を発刊しました。今年度はとくに（二）ニートやフリーターなどによって社会問題となっている若者に焦点化した青年プロジェクトや

**同窓会総会案内**  
毎年10月第三木曜固定

一、平成17年10月20日（木）  
一、午後6時より約2時間

一、札幌市中央区北4条西5丁目  
札幌アスペンホテル2F  
TEL 700-2111

札幌駅地下北口の「北大方向へ」の看板から地上に出ると前の10階建

一、会費 5000円  
年会費未納の方は年会費2000円を同時に納入下さい。

も模索中です。

社会貢献活動については、北大全体で推進している「包括連携」に加えて、研究科独自に「地域連携」を進めることが必要ではないかと考え、研究科内に「地域連携委員会」を設けました。「包括連携」は大企業との連携が多いのですが、教育学研究の特性からして、それらへの対応だけでは限界があります。中小企業を中心とした地域企業、とくに自治体や公共的な教育関係団体、地域教育実践諸組織などとのパートナーシップ制度をつくつしていく必要があるのではないかと考えております。



69年卒 教育方法学  
教育学研究科  
社会交流委員会委員長

### 同窓会へのお願い

組織的交流など、多様な連携関係を創っていくことが、できたらと期待しております。同窓会員の皆様には、これまで述べたことにご理解をいただき、よろしくご協力のほどお願い致します。



### それからの私



04年卒 教育臨床  
八百路香

### 須田勝彦

そうした連携の重要なパートナーとして、「北海道大学教育学部同窓会」があります。これまで同窓会との関係はたぶんにインフォーマルな関係であります。研究科・学部全体として連携を強化していくために、今年度から研究科の公式な専門委員会「社会交流委員会」が窓口となつて連携を推進していくこといたしました。教育領域の特性上、経済的事業に関しては無理があるかも知れませんが、お互いが「win-win (相乗的利益) の関係」

となるように、情報提供や現であれば幸いと存じております。同窓会員の皆様には、これまで述べたことにご理解をいただき、よろしくご協力のほどお願い致します。

今まで述べたことにご理解をいただき、よろしくご協力のほどお願い致します。

今後ともよろしくご指導のほど、お願い申し上げます。



### 八百路香

みなさん、はじめまして。

私は平成十六年に北大教育学部を卒業し、現在は北海道岩見沢高等養護学校で自立活動教諭として勤務しています。もともとは医療技士として、医療短期大学部卒の作業療法士なのですが、短大時代に見た実習先の子どもたちが通う養護学校に興味を持ち、医療だけでなく教育を勉強してから臨床に出ようと、同じ北大の教育学部に三年次編入しました。もともと医療職という立場であります。

北大側各教官の原稿にも

ありますように、法人化体制のもとで同窓会からのお力添えがますます重要になつてきております。社会

交流委員会としましても、高校生、市民の皆様との情

報交流を密にするとともに、同窓会の先輩の皆様から多くお励ましやご教示から多くのことを学ばせていただき

します。

また今後の検討課題とな

りますが、同窓会の若いメ

ンバーのご協力を得ること

も模索中です。

北大側各教官の原稿にも

ありますように、法人化体

制のもとで同窓会からのお

力添えがますます重要になつてきております。社会

交流委員会としましても、

高校生、市民の皆様との情

報交流を密にするとともに、

同窓会の先輩の皆様から多く

お励ましやご教示から多く

お励



いまこの時に



60年卒  
臨床心理

長屋良行

自分の感受性くらい／  
自分で守れ／ばかものよ  
／＼茨城のり子

（昭五二）所収四・一〇。  
六（折々のうた・大岡信）

より抜粋『ばさばさに乾いてゆく心を他人や時代環境のせいにするな馬鹿ものよ』は、正にわが人生への厳しい戒めの言葉としたい。

『駒苦夏連霸』五七年振り六校目』さすが道新は他紙を抜きん出て、道民の欲びを適確に表現。力の北海さえもが成し得なかつた悲願を達成（八月二一日）。真紅の大優勝旗は再び北の大地に。スポーツ音痴の輩もこの快挙に感極まる。連霸の歴史は、和歌山中、広島商、三連霸の中京商、和歌山海草中までが戦前、四七、四八年の小倉中から五七年目の快挙。開校四周年を迎えた駒大苦高がこの偉業。開道から一世紀半にも満たない新生・北海道も

域産業・経済の強化。言葉のみ踊る。平成の大合併で三一位一体、道州制、地権、二一二の市町村が明年三月までに一八〇になる見込み。足腰の強い郷土・北海道を作ろう。知床も、わが国二番目の世界自然遺産になつた。多くの方の努力と悲願の成果。きちんとした「知床ルール」を確立しよう。道弁連のシンボ「知床の生態系保護を考える」（七月二三）は多くの問題と課題を提起した。独断と偏見だが、知床遺産の実現は、午来昌（ゴライサカエ）斜里町長こそが唯一の推進者だった。

道内二百余の地域の首長さんは夫々個性的で優れたリーダーシップを發揮して居られるが、親交いただいでいる方も少なくない。中でもニセコ町長・逢坂誠二、松前・前田一男は異色かつ傑出している。逢坂二日出題、職員にも英語学習を奨めている。（八月二十四日現在No.1694）。著作も多い。九大大学院法学研究科教授木佐茂男さんの文書を引用する。『私の一日の日課は、逢坂さんの「町長室日記」を読む事から始まる。平均して五百行余りの職員向け電子メール日記には、町長の長期・当日の行動予定が事細かに公開され、そこから彼の息づかいや体

やれば出来るとの勇気を持つべし。いま北海道には元気がない。地方の自立・分権、三位一体、道州制、地権、二一二の市町村が明年三月までに一八〇になる見込み。足腰の強い郷土・北海道を作らう。知床も、わが国二番目の世界自然遺産になつた。多くの方の努力と悲願の成果。きちんとした「知床の生態系保護を考える」（七月二三）は多くの問題と課題を提起した。独断と偏見だが、知床遺産の実現は、午来昌（ゴライサカエ）斜里町長こそが唯一の推進者だった。

道内二百余の地域の首長さんは夫々個性的で優れたリーダーシップを發揮して居られるが、親交いただいでいる方も少なくない。中でもニセコ町長・逢坂誠二、松前・前田一男は異色かつ傑出している。逢坂二日出題、職員にも英語学習を奨めている。（八月二十四日現在No.1694）。著作も多い。九大大学院法学研究科教授木佐茂男さんの文書を引用する。『私の一日の日課は、逢坂さんの「町長室日記」を読む事から始まる。平均して五百行余りの職員向け電子メール日記には、町長の長期・当日の行動予定が事細かに公開され、そこから彼の息づかいや体

やれば出来るとの勇気を持つべし。いま北海道には元気がない。地方の自立・分権、三位一体、道州制、地権、二一二の市町村が明年三月までに一八〇になる見込み。足腰の強い郷土・北海道を作らう。知床も、わが国二番目の世界自然遺産になつた。多くの方の努力と悲願の成果。きちんとした「知床の生態系保護を考える」（七月二三）は多くの問題と課題を提起した。独断と偏見だが、知床遺産の実現は、午来昌（ゴライサカエ）斜里町長こそが唯一の推進者だった。

道内二百余の地域の首長さんは夫々個性的で優れたリーダーシップを發揮して居られるが、親交いただいでいる方も少なくない。中でもニセコ町長・逢坂誠二、松前・前田一男は異色かつ傑出している。逢坂二日出題、職員にも英語学習を奨めている。（八月二十四日現在No.1694）。著作も多い。九大大学院法学研究科教授木佐茂男さんの文書を引用する。『私の一日の日課は、逢坂さんの「町長室日記」を読む事から始まる。平均して五百行余りの職員向け電子メール日記には、町長の長期・当日の行動予定が事細かに公開され、そこから彼の息づかいや体

やれば出来るとの勇気を持つべし。いま北海道には元気がない。地方の自立・分権、三位一体、道州制、地権、二一二の市町村が明年三月までに一八〇になる見込み。足腰の強い郷土・北海道を作らう。知床も、わが国二番目の世界自然遺産になつた。多くの方の努力と悲願の成果。きちんとした「知床の生態系保護を考える」（七月二三）は多くの問題と課題を提起した。独断と偏見だが、知床遺産の実現は、午来昌（ゴライサカエ）斜里町長こそが唯一の推進者だった。

道内二百余の地域の首長さんは夫々個性的で優れたリーダーシップを發揮して居られるが、親交いただいでいる方も少なくない。中でもニセコ町長・逢坂誠二、松前・前田一男は異色かつ傑出している。逢坂二日出題、職員にも英語学習を奨めている。（八月二十四日現在No.1694）。著作も多い。九大大学院法学研究科教授木佐茂男さんの文書を引用する。『私の一日の日課は、逢坂さんの「町長室日記」を読む事から始まる。平均して五百行余りの職員向け電子メール日記には、町長の長期・当日の行動予定が事細かに公開され、そこから彼の息づかいや体

現地の要望を満願貢徹。退職後に斬様な難儀があろうとは予想外だつた。人の熱い期待と信頼に全面的に応え得た充足感は永い現職時代にも増して得難いものであつた。これも偏に前田君の支援が有つたればこそ。国際感覚に優れ、チャレンジ精神旺盛な若い彼の大成をば祈念すること頻り。逢坂・前田両町長は共に大学での専攻に關係なく、地方自治を全く新しい視点から切り拓くことに挑戦中だがその成果と可能性に大いに期待したい。

さて、創立から一〇二年の母校・旭川東高校を卒業してから半世紀。同窓会では卒業五〇周年に金メダルを授与し全員で寿ぐ。全国からの参集者七五人。校歌・応援歌・逍遙歌を久しく壇上で放歌高吟（在学中はさほど感じなかつた校歌にシビレた）。名簿では物故者三五、住所不明者一二とある。二七〇人の友は何處に、健在で有りや無しや。五〇年のタイムトンネルを経て若き日の回想に浸つた（八月七日）。友も吾もかくも永く生きたものよ。パール・バッカの『母よ歎くなかれ、や三重苦を克服したヘレン・ケラーに奮起し、「君を受け入れる国立一期校は絶対なし」と

（明治四〇年（一九〇七）五月、この地で生れた作者の洋燈／ああ北の都・旭川の／常に天を望む／凜乎たる詩精神／それを縁どる／雪をかぶつたナナカマドの／あの赤い実／い／ああ北の都・旭川の／常に天を望む／凜乎たる詩精神／それ

の洋燈／ああ北の都・旭川の／常に天を望む／凜乎たる詩精神／それを縁どる／雪をかぶつたナナカマドの／あの赤い実／い／調和した例を知らな  
い／  
Geography Information System そのもの。）で  
の業務も初体験。最先端を行くIT領域の分野で、文科系の輩には齒が立たないが衰え、かつ六勘もいたくなづつてきた。気力・体力・意欲がある内は周りや他人に迷惑をかけず、法を越えず、力の限り我が欲する処に従い、ありとあらゆる事に見る・きく・おもうでトコトン挑戦し愉しみたい。

が旭川の開基一〇〇年を記念して市民の本ナナカマドの変わらぬ美しさを謳う。平成二年（一九〇）九月一九日 建珈琲亭「ちるる」は五〇年前と、いとも変わらぬ姿かたちで近くにあつた、が日曜は休み。  
道を退職後の一〇〇年。前述の財海外協会四年。NPO法人二年。現在の民間企業で三年余。NPOでは、ニュージーランドと中国の青少年交流と高齢者福祉。此處でも多くの方と得難い交流・知遇や人脈を得た。元北大病院長の大浦武彦氏。在日二〇年の中間の評論家・莫邦富（モ・バンフ）氏。南米以外の若者達。これらは道府退職時には考えられなかつた想定外のことである。そして今、全く予期外の民間企業。セコム系列の株バスク。その道内企業G.I.S 北海道（地図情報・航空測量が主。）

人の忠告を肝に銘じつゝ「營業活動中（？）だが、結果たして……このG.I.Sは、デジタル地図を基盤に自然・社会的環境の情報を蓄積し、計画・解析・管理・住民説明に役立てるための道具であり、産官学の各領域で横断的な活用が期待される。とりわけ道・市町村での公事業のみならず行政全般の効率化・公平迅速・適確な執行体制を確立する上で、個別の各業務を連携する情報ネット・ワーク化が有力な武器となるのだが、如何せん財政出動が少ない。国庫助成の更なる拡充が望まれる。地震・ツナミ・風水害（山や崖の崩壊・川の氾濫）などの防災対策としてハザードマップ化が必要で、山林・河川・農地・酪農・水産業など自然環境・産業振興にもG.I.Sは威力を発揮すると言われるが、関係者にこれを導入するハラ・技量・カネが必須条件。

さて、最近はとみに五感が衰え、かつ六勘もいたくなづつしてきた。気力・体力・意欲がある内は周りや他人に迷惑をかけず、法を越えず、力の限り我が欲する処に従い、ありとあらゆる事に見る・きく・おもうでトコトン挑戦し愉しみたい。ゲンキいっぱいである日コロリ。P.P.K.がいい。心身ともに矍鑑として活躍しているご高齢の老人も沢山居られる。新老人の会長・日野原重明聖路加国際病院理事長（九三歳）（九月二三日札幌ロイトンで講演）。札幌の石林清さん九三歳・歌い絵を描き、多彩な文化活動を精力的にやり、酒・人・仕事・旅が心底好きな人。年齢を感じさせない。繁野三郎水彩画集を最近作製完工。高い評価を得ている。

青春とは 真の青春とは／若き肉体の中にあるのではなく／若き精神の中にこそある／／

歳を・重ねただけで人は老いない／夢を失ったとき・はじめて老いる／＼

以上を以て終わりとする処で突如小泉劇場の煽りを受けて、逢坂ニセコ町長が永田町の赤ジュータンを踏む「劇場型選挙」のサプライズが発生。よつて八月二六日付 No.1696 号で「町長室日記」はすべて終わつた。さきに知事選さえ断つた彼が、得体の知れない（？）組織から出馬とは。

鉢呂さん「鉢呂吉雄氏・農四六卒 衆議院議員」もあるもんだ。本期限りは地方自治を真に改革する男としてニセコにあつて欲しかつたが、「腐権一〇〇年」「花は一〇日に紅なし 権は一〇年久しからず」とも言われる。町職員一一年、町長一年のニセコの貴重な実績をベースに今後は全国区の大きな舞台で、ニセコ町・

ル・ウルマンの『Y.O.U.T.H』オリジナル判

「青春」は、かつて三〇年前マッカーサー元帥が愛誦したと言う岡田義夫訳・旧版より遙かに優れて分かりやす

い。

青春とは 真の青春とは／若き肉体の中にあるのではなく／若き精神の中にこそある／／

歳を・重ねただけで人は老いない／夢を失ったとき・はじめて老いる／＼

以上を以て終わりとする処で突如小泉劇場の煽りを受けて、逢坂ニセコ町長が永田町の赤ジュータンを踏む「劇場型選挙」のサプライズが発生。よつて八月二六日付 No.1696 号で「町長室日記」はすべて終わつた。さきに知事選さえ断つた彼が、得体の知れない（？）組織から出馬とは。

鉢呂さん「鉢呂吉雄氏・農四六卒 衆議院議員」もあるもんだ。本期限りは地方

自治を真に改革する男としてニセコにあつて欲しかつたが、「腐権一〇〇年」「花は一〇日に紅なし 権は一〇年久しからず」とも言われる。町職員一一年、町長一年のニセコの貴重な実績をベースに今後は全国区の大きな舞台で、ニセコ町・



たが。

実践二年目の今年も、仕事はそこそこに、引き続き大家さんの畑と丘珠の農場に通う日々。今年は融雪が遅れたほか、五月は雨でなかなか畑に入れず、種まきしつかり味わっています。

北海道農業は今、大きな転換期を迎えてます。国際農業交渉の進展と自由化の流れ、それを背景とする国の農政改革。日本の食料を支える北海道は、米価の下落や受給環境の悪化、担い手の減少など、さまざま的な課題を抱えているのです。もう、農業の世界だけでは解決できない、これからは食べる人や食材を使う人とともに「運命共同体」として、それぞれができることをやらねばならない。

そうは言つても、一体自分に何ができるのか。一時は本気で、担い手不足にあ

幌農業の話、農業への思いなどを聞いておけばよかつた、そんな後悔が残りましたが、せめてもの供養にと毎日畠仕事に精を出していきます。この畠も今年で終わ  
り、来年は宅地になることになりました。

農家になればいい」とよく言います。由仁町で「由仁ふれあい農業小学校」を開校している三田村雅人さんは、ベランダのプランターでトマトを育てている人も、「立派な農家だ」と言つていました。自分たちの食べものとくられる環境に、僕らはもつと責任を持たなければいけないはず。ちょっとしたきっかけひとつで、今まで

声をかけて来ます。みんなが好きなんですね、農業が。一昔前は、北海道に住んでいた人はほとんど農家の出身みたいなものだつたろうし、僕らはからうじて祖父や親戚が農家の世代。でも、僕らの子供たちにとつて煙や田んぼは遠い存在になりました。

えぐ農村に飛び込んで、農家になるうと思いましたが、家族の声に耳を傾けるとそれもできず。札幌市内での就農は、府県並みの農地価格の高さに断念。会社員としての仕事もあり、当面の目標は現実的なラインとして第二種兼業農家かな、などと考えているところです。

て見て、いた風景が違つて見えたのです。北海道の農村風景は本当に美しい。どこですか、見えていますか。

▽八月のメニユーリトマ（大玉、中玉、ミニ）、き

うり（黒さんざん）、ズツキニ、オクラ、なす、ピーマン、パブリカ（赤）、いんげん、レタス、ブロッコリー、しとう、すいか、メロン、えだまめ、スイートコーン、▽九月のメニューにたまたまござぎ、馬鈴しょ（男爵、花梗津、インカのめざめ）、かぼちゃ（坊ちゃん、えびすくりあじ、雪化粧）ながさぎ、ながいも、ごぼう、にんじん、だいこん。

四〇四室から(一五)



浅田生さん（'80年卒浅田（山下初美さん（教育史）のお嫁さん）と2005年1月7日教育学部卒業式にて撮影

の流れでそれを問題視するところから、日本の農政改革。日本の食料を支える北海道は、米価の下落や受給環境の悪化、抱いていた手の減少など、さまざまな課題を抱えているのです。もう、農業の世界だけでは解決できない、これからは食べる人や食材を使う人とともに「運命共同体」として、それそれができることをやらねばならない。

僕の祖国である廣田の農家さんは、「都會の人もみんな農家になればいい」とよく言います。由仁町で「由仁ふれあい農業小学校」を開校している三田村雅人さんは、ベランダのプランターでトマトを育てている人も「立派な農家だ」と言つていました。自分たちの食べものとくられる環境に、僕らはもっと責任を持たなければいけないはず。ちょっとしたきっかけひとつで、今ま

えぐ農村に飛び込んで、農家になろうと思いましたが家族の声に耳を傾けるとそれもできず。札幌市内での就農は、府県並みの農地価格の高さに断念。会社員としての仕事もあり、当面の目標は現実的なラインとして第二種兼業農家かな、などと考えているところです。さつぱり「教育」の話になりませんでしたが、宅地の真ん中で農作業をしていると、本当にいろんな人が声をかけて来ます。みんなが好きなんですね、農業が。一昔前は、北海道に住んでいた人はほとんど農家の出身みたいなものだつたろうし、僕らはからうじて祖父や親戚が農家の世代。でも

て見ていた風景が違つて見えたのです。北海道の農耕風景は本当に美しい。どこですか、見えていますか。▽八月のミニユートマ（大玉、中玉、ミニ）、きりうり（黒さんご）、ズッキニア、オクラ、なす、ピーナン、パブリカ（赤）、いんげん、レタス、プロツコリ、ししとう、すいか、メロン、えだまめ、スイートコーン、▽九月のミニユートマ、なす、馬鈴しょ（男爵、花梗津、インカのめざめ）、ぽちや（坊ちゃん、えびくりありじ、雪化粧）なす、ながいも、ごぼう、にんじん、だいこん。

のうち合せ 中期目標の一  
一六年度評価報告書の作成  
マスコミとの応対、広報誌  
の編集会議、図書館長としての決裁、大学文書館長としてのあれこれ、関係する  
全国的な会議などで、あつた  
という間に一日が過ぎ、午  
前には前日の記憶がなく、  
午後には午前の会議を思い出  
出すことができないほどです。「決断と即決」の日々  
勤務時間は特に定められ  
てはません。従って、有給  
です。

は大変苦痛です。冷房で叶を痛めて数日伏せるのを余儀なくされました。が、「夏は暑い！」と独りごちしながら、今は元気です。

◇僕は、二〇〇五年四月末日で教育学部長を辞し、五月から理事・副学長なる職に就きました。評議室長で広報担当でもあります。図書館長・北海道大学大学文書館長を兼ねてもいます。身分は耳慣れぬ「国立大学法人北海道大学役員」というものです。従つて、普段は副学長室（本部事務局二階）にいます。一方で、四〇四室は今までどおりで、授業・院生指導などに限つて学部にも出向いているのです。想像ください、忙しそうでしょ？ 役員会を筆頭に、役員同士の相談、会議とそれらの事前事後

と知れたミュンヘンオリンピック平泳ぎ（一〇〇メートル）の金メダリストです。話は僕の下手な水泳にも及びました。僕が目標として距離を上げたら、言下に「それは駄目です。世界記録保持者の腕の搔き数を目標とすべきです。」と。ほんやりだと「五メートル二三搔きで頑張れば一九搔きだと話したら、二五メートル一三搔きでいいことにしても

休暇もなく、職場を休むときは「不在」となります。出勤簿もないのですが、僕は何時に就寝しても五時半に起床し、七時半から八時の間には出勤しています。僕としては、図書館の開く時間には、大学に着いていなければならないのです。大学院生のときから続けており、学部長のときもそうしていた生活のリズムを保つことで、僕は「役員」の勤務の精励しながら「役員」の生活に抗っています。連絡先は  
hemmi@edu.hokudai.ac.jp  
011-706-2335  
◇この数ヶ月は水泳とランニングは事実上棚上げです。  
国立大学図書館協会の会合で、以前北大にいたことがある西園秀嗣さんを話の糸口として、田口信教鹿屋体

境内で「仮説」した沿岸兒の施設を設けました。その施設は東京水上警察署に因み「東水園」と名付けられたのです。一九四六年から一九四八年まで存在しました。「東水園」を確かめるために、東京都中央図書館・港区立図書館・港区立郷土資料館・港区立高輪台小学校・東京都公文書館・東京水上警察署・品川埠頭など歩き回りました。しばらくは、敗戦直後の日本における浮浪兒・戦争孤児

らいました。目標が大事だと、壁を蹴って無呼吸で一五メートル進むという別の目標も与えられました。いずれも不可能だと自覚していますが、スポーツ談義でこれほど明快な話を聞いたのは初めてでした。目標としては悪くないからです。

◇昨年一〇月に開催された教育史学会大会で、「品川台場の浮浪児たち—東水園の歴史」を発表しました。警視庁東京水上警察署が、今は解体され埋め立てられて品川埠頭の一部となつた第一・五台場—羽田から浜松町に向かうモノレール天王洲アイル駅の少し手前から望める海側の埠頭に「第一五台場交番」が見えます。その交番の北に第一台場、さらにその北東に第五台場がありましたが、管轄区

の歴史を調べる」として  
います。

◇最近、「戦争孤児と映画『鐘の鳴る丘』」、「昭和史大最初の女子学生」、「C.I.Eの児童保護政策と映画『鐘の鳴る丘』」というテーマで、それぞれ北大遠友学舎、UHB大学（道新ホール）、北大博物館、時計台で講演しました。どの会場でも印象的な出来事がありました。UHB大学では、四大節には登校して儀式が行われたという件で「天長節」の歌を流したところ、約五〇〇人の参加者の間で「合唱」がおこりました。身に染み込んだ「教育の成果」をお互いに確認したことです。参加者には、兵役経験者あり、予科練生き残りありで、盛り上がりました。

孵つた四羽のうち一羽がサクシユコトニ川に落ち溺死しました。流れる雛を親鳥たちが啼きながら追う姿は悲痛でした。死んだ雛もそれを追う親カラスも観るので、枯草がはみ出ているのです。分かれます。雀の巣立ちはカラスの育雛時期と重なるので、雀の巣はカラスの食料庫であります。学術交流会館には美男の野良猫もいますので、食物連鎖は過酷です。カルガモはいつもの通りに雛を孵しました。新入生合宿(日高)では、コグラ・シロハラ・ゴジュウカラ・アオサギを観ました。極めつけは、本部近くの池の傍で観たキビタキです。囁りも見事ですが、雄は黄・橙・黒・白が混じた美しい姿で、新緑に映えること。極めつけというのは全身を振るわせて囁く雄の姿です。キビタキの雌を観たからです。◇また、例によつてこの間に会つた卒業生です。先に記したように、午前には前日の記憶がなく、午後には午前の会議を思い出すことができないという体たらく

う前提で読んでください。幾人かの年賀状に、会った人々のところが一番おもしろい、と書いてくれたのは嬉しい限りです。植田理子さんが来てくれたのは去年の九月頃でした。いつだつたか、教育学部で理子さんから「兄です」と紹介されたその人と結婚した由。柏崎祐さんとは千歳空港でばつたり。梅津徹郎・小佐野聖・新井（岡田）直子さんは、一年生対象の「教職入門」で講師を頼みました。好評でした。石井良美さんが学部で会ったのは暮れだったか？正月のニュースで「空沼工房」の紹介を見ました。何と三島千枝さんが「学校シリーズ」なる携帯電話のストラップを造っているではありませんか。本物そっくりの黒板消しで電話の画面を拭けるのです。早速メールで注文しました。中村瑞穂・浅田（山下）初美さんが、初美さんの末っ子生さん（小学校四年生、ツーショットの写真を参照されたい！）を伴つて現れたのは一月七日、平島みゆきさんがケーキ（紙粘土）持参でやつて来たのは二月、名古屋で言語療法士として働くことになったと、田淵三砂子さんが旅行がてらに報告に現れ

旬には、僕は札幌市に勤める佐藤学さんの身元保証人となりました。四月から厚生労働省に勤めることにするという相川絵理さんにばつたり。四月には岡崎文香・篠原小枝さんと会いました。岡崎さんは今は海外青年協力隊員としてエクアドルにいます。大島亜耶・森田寛子さんと事務室前でばつたり。新井直子さんが陣中見舞いに現れ、石川（南出）悦子・高草木節子・高津（円山）雅子さんの消息をもたらしてくれました。四人はたまに集うらしいです。五月には、佐藤学・佐野公美・川俣智路・上山浩次郎さんが勉強会だと集まっているのに遭遇、福浦直樹さんは札幌駅で遭遇しました。土田・高橋有紀・細川美香・大友かおりさんが写っていました。高瀬美菜さんは六月に大阪で会いました。アメリカ合衆国越田清和さんと七月初旬に構内ではばつたり。清水葉子・浅田利恵さんが来てくださいました。四月には山田敏之さんは、たなつた山田敏之さんは、たなりました。四月から厚生労働省に勤めることにするとい

専務理事・事務局長（長野県下伊郡泰阜村）である辻英之さんが立ち寄ってくれました。あの懐かしいだみ声で、自然体験学習の醍醐味を話してくれました。（同じNPOで働いている）山口典子さんと電話で挨拶！でした。きやら亭で食事中の浅井孝紀・椎谷瑞歩・高村恵さんと出つくわしたの七月末？八月六日に新潟から小野塙恒男・柴子さんが、恵迪寮同室者の集まりついでに、「ホッケの開きが食べたい」とやつて来ました。前後して仕事と芝居に打ち込む落合宏典さんと北五条通りで。八月一二日に金子裕美さんは南門近くでばつたり。八月二五日には上島司・清水葉子さんの結婚式パーティには相澤里奈・浅田利恵・石井良美・石川俊文・伊藤未希・岩田貴士・内海靖香・大西純子・大松絵美・河西美絵・後藤美海子・澤木梨沙・柴田智美・高橋敏晃・千葉貞雄・葛森英史・奥村岳司・本田麗子・塙朋子さんが参加しました。元木陽

介さんは祝電で参加。葉子さんはきれいでゆつたり、司は舞い上がっていました。通勤途中で、牧原香苗さんとはと書きどき、村松ゆうさんとは一年ぶりに会いました。北大に勤めている越後郁子・井上高聰・清水亜紀・鈴木（来島）百江・山本美穂子・山下ちづえ・安部麻子・宮田真理子さんらとはときどき遭遇しています。小川正人・三上敦史・三上（吉田）基子・塚本智宏・奥寺雅道・皆川義隆さんとも二、三回。青山新吾・湯浅雅之・水口勝博さんとはすれ違い。水口さんは念願の気象予報士となり、鹿児島市在住との由。一〇年ほど前からときどき構内で会う老紳士と言葉を交わすようになり、白樺養護学校で佐藤（桑原）桂子さんと同僚であつたと最近聞きました。中川美穂子さんから幌に転勤した旨、また裴英恵さんからは男児誕生の知らせがありました。



卷之三十一

族です。英之さんは在学中、ハンドボール部のキャプテンとして、また典子さんも軟式庭球部のキャプテンとして活躍された方です。現在お二人は長野県泰阜村のN.P.O法人グリーンウッド自然体験教育センター(<http://www.greenwood.or.jp/>)の中心メンバーとして活躍中です。私自身、自然体験教育、地域社会とスポーツの関係に私も感心がありました。今回はお子さん三人も含め、久しぶりの北海道旅行でした。指導教員であつた須田力先生、進藤省次郎先生を交えて会食することになり、大学の様子や現場の話、大学時代の思い出に話に花が咲きました。

代から原稿を募り、数ヶ月に一回でもいいからリレーで通信みたいなこともできなかつた。等々話は盛り上がりました。

久しぶりに卒業生と話をすることを得て、卒業生の北大教育学部に対する思いのやうなものを感じることができました。「キャンパスを歩いていると、何か原点に戻ってきた気がする」とはお二人共通の言葉です。我々教員はその原点を原点たらしめるべく日々努力しなければと思う一方、そりいつてくれる卒業生からもエネルギーをもらっているような気がしました。法人化以降、学部はもとより大学教育を巡る情勢は大きく変化しました。けれども、学部のゼミを中心とした濃密な教育という基本的な部分は変わっておりません。

これらを経験した多くの卒業生が社会の各分野で他の大学や学部卒業生とはひと味もふた味も違った個性を輝かせ、活躍していることに違いありません。

ここ数年で、教育学部教員の世代交代も進んでいきます。それぞれの時代を生きた教員、卒業生の交流がこれからも続きますことを念じたいと思います。繰り返しになりますが、長年本

### 三度目の受験



’85年卒  
特殊教育

私は北大の門を三度たたいている。

一度目は一九七八年。理  
類に入学した当時は、高校  
時代の恩師の影響で、数学

の教師になりたいと思つて  
いた。でも高校時代からの  
憧れは「核融合」と「遺伝  
生物学」。

子操作」。どちらも夢の技術であり、人類は大腸菌に滅ぼされるなどと真剣に考えていた時代である。

えていた時代である。たゞ、  
当時北大には染色体研究部  
という施設があることを

知っていたので、密かに生物系をねらっていたのも事実。

しかし、一方の先生は、  
当時の「熱中」ブームの中、  
熱中先生が自閉症児とかか  
わる姿を見て、「これだ！」

と直感した。そして教育学部の転部試験を受験したのが二度目である。教育学部で臨床心理学や發達心理学を学び、自閉症児施設で実習してその施設のある病院に就職した。そこからの約二〇年間は、自閉症、ADHD、強迫性障害などのあることなどもたちと真正面から向かい合い、ときにつらく、しかし実に充実した毎日だった。四〇歳になろうとした頃、もっと彼らのことを知りたいと勉強を再開し臨床心理士を、そして自分の苦手分野のソーシャルワーカーの勉強をして精神保健福祉士を取得した。

## 社会福祉施設の質の向上を願つて



•65年卒 臨床心

一九六五年(昭和四〇年)  
から長い間児童相談所、身  
体障害者更生相談所、心身  
障害者総合相談所などで目  
童や、障害を持つ人たちの  
相談業務に携わってきた。

その中で多くの施設入院に立ち会う場面があつた。極端な例では望まぬ妊娠により、生まれてすぐに乳頭に入院所ということもある。

障害を持つ場合に児童施設入所につながることもあるし、非行児といわれると児童施設に入所する場合には自立支援施設へ

児童虐待などは児童養護施設への入所につながる。当然里親委託もあった。

相談業務に携わっている時には、子どもを施設へ送る側に立っていた。現在のままの生活ではその子の福祉が阻害される。施設の方が将来的に幸せになれると判断し、施設入所となつたのである。

一九九六年（平成七年）

社会福祉法人室蘭言泉学園

で、児童養護施設わかすぎ

学園・ろうあ児施設室蘭言

泉学園の両園長として働く

ことになった。（勿論自分から進んでなつたのだが。）

子どもに対する立場が逆転した。今までは子どもを施設へ送る側の立場だったのだが、今度は送られてくる子どもを受け入れ、育てる立場になつた。

目の前に心に傷を持つ子どもがいる。この子を受け入れ、心の傷を癒し、将来を見すえどう育ててゆくのが良いのか考える。全責任が肩にのしかかる。

もう少し大人の手がほしい。もう少しゆつたりした環境、リズムの中で育てたい。

ところで「社会福祉施設」とは何だろう。大きく分け入所、通所、利用施設の三種類あるようだ。ここで

は家庭に替わってそこで「利用者が生活している」

入所施設について考えることする。特に子どもが生

活主体となる児童福祉施設を強調したい。

各法律によりその施設の目的や対象者に違いはあるが、最大の共通点は「利用者が大集団で生活している」ことであろう。福祉先進国ではこのような「大集団での生活」はあまり見られないくなつてているという。

しかし、日本の現状はいまだに「施設入所」が中心になつていて。（介護保険制度が実施されてからは、本人との契約で利用することになるので、「施設入所」ではないという意見もあるが実態は同じだろう。）

それでは「大集団での生活」の実態はどうなつていいのだろう。一つの例として夕食場面を想像していただけ。食堂の天井から、食事風景を鳥瞰する。同じメニューや食事を何十人もの人たちが黙々と食べている。ノーマライゼーションという言葉があるが、この「大集団の生活」はアーバンマーレ的な世界である。

もう少し高度を上げ、各家庭の夕食風景を鳥瞰する。児童養護施設わかすぎ学園でも昨年からグループホームを立ち上げた。（正

これらのメニューで食事をしている風景が見えるだろう。

現実の日常生活の中では特に幼児の集団が目につく。

自分たちのオモチャを守るために必死に戦っている。自分を守るのは自分しかいないのだ。もちろん幼児ばかりでないが、年齢が小さければ小さいほど大人の手が必要だ。それでもっとゆつたりとしたリズムの中で育てたい。

### 小集団への道

知的障害者福祉法や精神保健福祉法（正式には「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」という。）

の中に「グループホーム」という障害を持つ人たちが地域で生活するために支援する事業がある。（身体障害者福祉法の中にはない。老人については分からないので省く。）

障害者自立支援法が施行されると施設体系が大幅に変更されるので、グループホームがそのまま存続するのかどうかも不明であり、たとえ存続したとしてもその認可を得るのも難しい。

集団を小さくすることによつて、これだけ落ち着いた生活ができるのだ。

Q. O. L.（生活の質）を高めるには集団を小さくすることが必要最低限の条件である。

よつて、これだけ落ち着いた生活ができるのだ。

Q. O. L.（生活の質）を高めるには集団を小さくすることが必要最低限の条件である。

障害者自立支援法が施行されると施設体系が大幅に変更されるので、グループ

ホームがそのまま存続するのかどうかも不明であり、たとえ存続したとしてもその認可を得るのも難しい。

グループホームで生活したい障害を持つ人たちがたくさんいるというのにである。

また、地域小規模児童養護施設も一年更新であり、いくつも立ち上げることは困難だ。

### エッセイ、ふたつ



60年卒 教育史・比較教育  
亀貝一義

#### 一 「教育の本質」

昭和三五（一九六〇）年に教育学部を卒業し、一九九〇年まで札幌北斗高校で、その後フリースクール札幌自由が丘学園で、教育の仕事を今日まで続けてきました。

これまで「教育の本質は人間的なふれ合いにある」という趣旨のことを何度か言つてきましたし、そのことについてはますます当たつてゐると思います。この語のもともとは、私が学生時代に勉強した「教育行政学序説」。

私が記憶にあつた部分を含めた前後をそのまま記すと次のことです（有斐閣・昭和三年版「教育行政學序説」）。

育学者。ただこの語の前後の関係は全く忘れていましたが、不思議にこのことばかりははずっと頭から離れることはありませんでした。原文に当たつてみようと思つたのですが、自宅にはなく札幌市内の古本屋さんで北大中央図書館に行つてきました。古い友人に会つた気がしました。学外者だから貸し出しはできないということで、学外者も参照できそうなので、何十年ぶりで北大中央図書館に行つて懐かしいこの書に触れたことができました。古い友人に会つた気がしました。学外者だから貸し出しはできないということと関係のページをコピーしましたが、この書はやはり自分の手元に置きたいので「日本の古本屋」を検索すると一冊だけ東京の書店にあるというところで注文しています。

私が記憶にあつた部分を含めた前後をそのまま記すと次のことです（有斐閣・昭和三年版「教育行政學序説」）。

「内的事項」と教育行政の浸透度：「外的問題」に対する権力の統制力が残りなく及び得るが、内的事項についてはそういうかない、という事実である。教師といふこと

生徒との接触の機微——それがまさに教育の本質なのであるが——には極端にいえば、いかなる法律も行政手段も執行者たる、またはたらんとする、意識をもつてゐる。ところがよい教師はよう。忠実な執行者たらんとする意識などとは縁遠くなり、ますます自己の良心に忠実であろうとし、ヒューマニズムにこそ忠実であるとするのである。」（序章・第一節「教育行政の諸定義」）。

これが書かれたときから約半世紀たっている今だが、あらためて考えて、きたい指摘であると思つています。

らも軽く読める本でした。

「青春とは 真の青春と  
は 若き肉体のなかに あ  
るのではなく 若き精神の  
なかにこそ ある」から始  
まる約七〇行の短い詩です。

いかにも 「功なり名を遂  
げた人生のベテラン」が若  
者（しばしばこの種の若者  
は夢がなさそうであり『若  
者』らしくないのです）に  
対して、ある種の叱咤激励  
の言葉にしたり、訓辞の不  
タにしたりする文句が並ぶ。

それよりもベテランが  
「全く同感」とニコッと自  
己満足することができる書  
です。

この「人生のベテラン」  
に相当する人を昔口一トル  
といいました。今はほとん  
ど死語のようです。漢字で  
書くと「老頭児」。れつき  
とした中國語ですが、私が  
本当の青春期（？）こうい  
う語を使って古い頭人間を  
批判したことがありました。  
しかし今ロートルになつて、  
「本物の青春とは年齢では  
ないゾ」というのもビ  
ミヨーな気持ちがするもの  
ですね。

注。私はインターネット  
上の「ブログ」（日記とい  
うか独り言というか、人に  
見せるメモというか）を  
やっています。右はそこに  
記したもののがいくつかです。

## 同窓會・会務・会計報告

同窓会 会長 多橋 米内 豊也  
副会長 副会長 伊藤 哲也  
副会長 副会長 吉田 敏雄

次の所から行くことができ  
ます。もしのぞいてみよう  
かと思われたら見てください。  
<http://www.sapporo-jg.com>  
のリンクのページ。

## 会務 (H16年9月～H17年8月)

期日	会務事項
H16年10月21日	同窓会総会開催 35人
10月22日	ポプラ並木再生寄付 10,000円 北大総長 中村睦雄様宛
11月8日	総会写真の送付 23人
H17年2月16日	リテラボプリ送付 45通
2月22日	村山紀之会員（11回昭38年卒）弔電
3月25日	北大卒業式 会長、幹事長参加
5月16日	リテラボプリ送付 幹事会召集
6月2日	幹事会開催
8月30日	群馬同窓会への名簿送付・リテラボプリ配布

会計 (H16.10.17~H17.5.31)

収入の部		支出の部	
前期繰越	345,188	総会時支払	128,600
総会時収入	212,000	通信費	36,830
会費収入 94人	187,330	雑費	9,314
		慶弔費	26,753
		事務局宛返済	343,908
		寄付金(北大)	10,000
		小計	555,405
		※次期繰越	189,113
合計	744,518	合計	744,518

※繰越内訳	
小口現金	37,005
郵便為替	151,520
銀行預金	497
銀行預金	83
計	189,113